

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年08月05日

計画の名称	21 快適に利用できるサイクリング環境の創出（防災・安全）【重点】															
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）											重点配分対象の該当	○			
交付対象	神奈川県															
計画の目標	・「神奈川県自転車活用推進計画」に基づく県内の連続したサイクリング環境整備を実施する。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		1,000	A	1,000	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3		R7
1	「神奈川県自転車活用推進計画」に位置付けられた路線において、自転車走行空間整備を実施した割合の向上			
	自転車走行空間整備完了延長 / 自転車走行空間整備計画延長 × 100%	49%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	都道府 県道	交安	（一）相模川自転車道・ さがみグリーンライン	自転車走行空間整備 L=10.0 km	海老名市 寒川 町	■	■	■	■	■	1,000		-	
												小計						1,000		
												合計						1,000		

交付金の執行状況

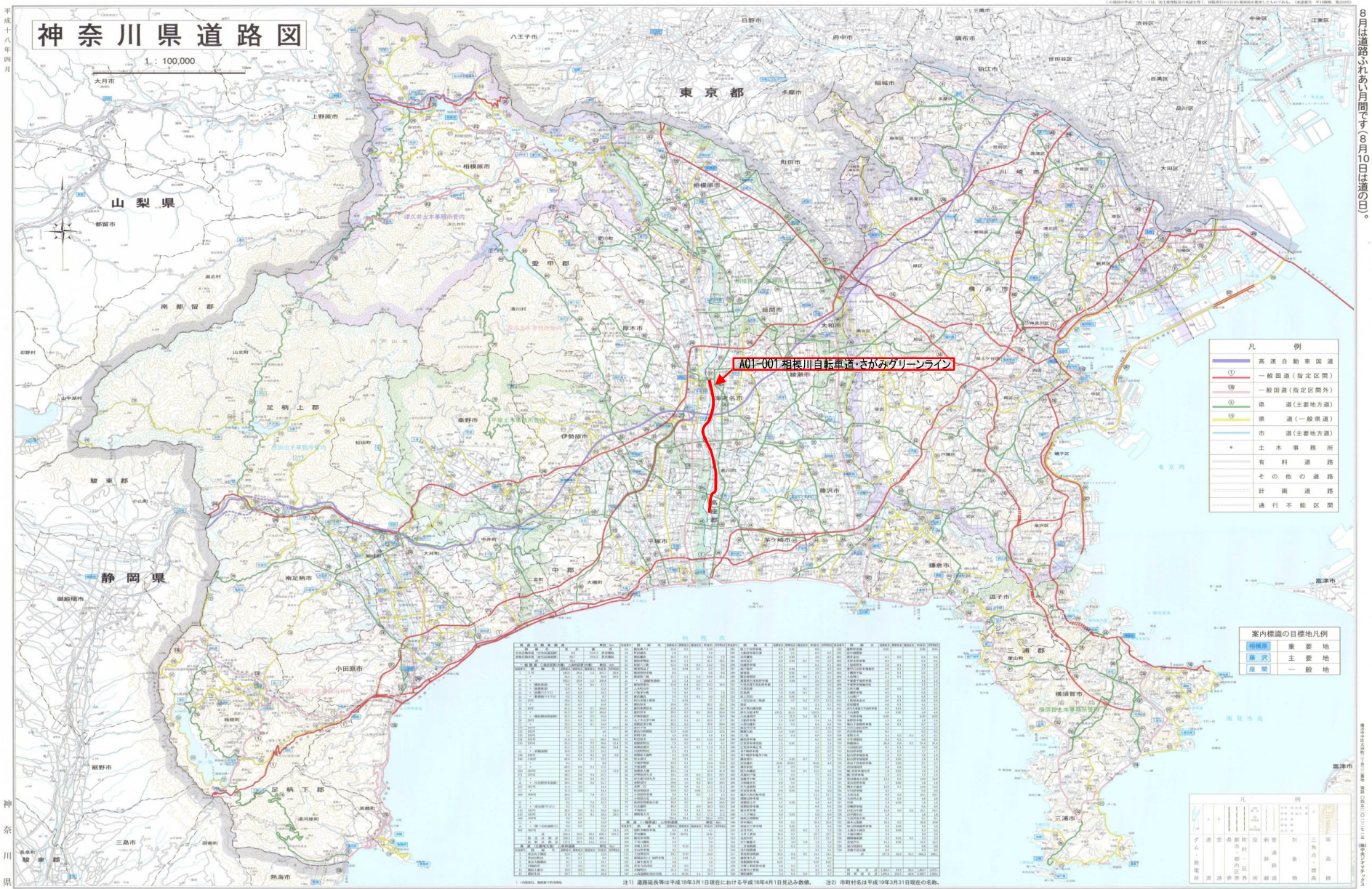
(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	24	49	27	25	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	24	49	27	25	
前年度からの繰越額 (d)	0	19	46	3	
支払済額 (e)	5	22	70	10	
翌年度繰越額 (f)	19	46	3	18	
うち未契約繰越額(g)	13	11	3	8	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	54.16	16.17	4.1	28.57	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事において、地元調整に時間を要したため。	委託において、関係機関調整に時間を要したため。		工事において、関係機関調整に時間を要したため。	

(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	21 快適に利用できるサイクリング環境の創出（防災・安全）【重点】	
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付団体 神奈川県



事前評価チェックシート

計画の名称： 21 快適に利用できるサイクリング環境の創出（防災・安全）【重点】

事前評価	チェック欄
I．目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I．目標の妥当性 地域の課題への対応 ○課題を踏まえた目標を設定し、課題への対応方針が妥当である。	○
II．計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II．計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	○
II．計画の効果・効率性 事業の効果 ○事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
III．計画の実現可能性 地元の機運 1）多様な主体との連携が図られている。	○
III．計画の実現可能性 地元の機運 2）地元や地元市町との調整が図られている。	○
III．計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1）住民等の合意形成が整っている。	○
III．計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2）事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○